

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

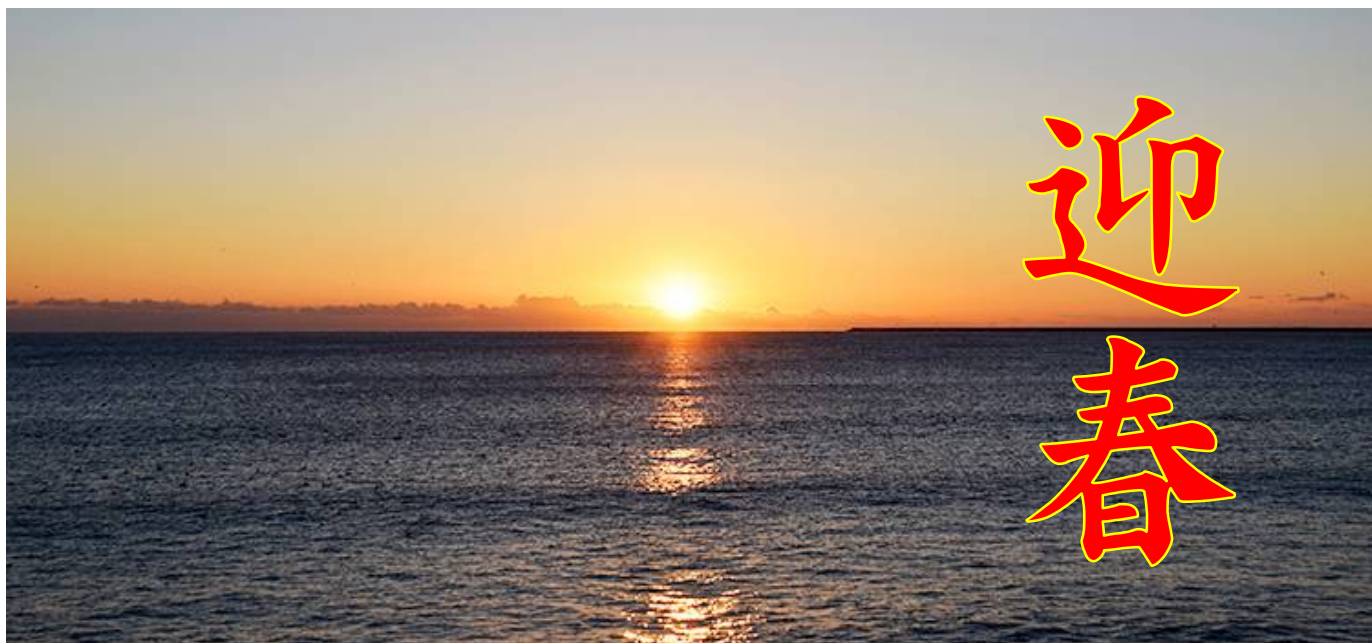
令和6年 1月20日 NO.69

発行責任者：橋迫芳隆



神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>



令和六年「甲辰」に因んで

再生と躍動を象徴する発展の年

令和5年の元旦は、屋内温度が十度を超える、暖かく穏やかな晴天で明けました。

今年の干支は、甲辰きのえたつで60の中の41番目です。

甲「(つ)は十干の第一にして、五行は木性の陽。

甲「は循環の第一位で物事の始まり、優勢である事を表す。真すべく進む勢いを内部にもち、これから活力と成長が始まる。

辰「ひん」は十二支の5番目で陽。五行は木、季節は春。方位は東南東。

辰「は十二支の中で唯一の架空の生き物、龍竜を充てる。水や海の神。大自然の躍動を象徴する。

辰「は振」であり震「でもある。ふるえ、とこのつ、ふるいたつ」をも意味する。また、甲辰「共に五行は木であり、木の特性が強調され、成長と柔軟性を象徴する。

以上をまとめると、甲辰「は新しい成長の芽が吹きはじめる発展の年のイメージとなる。

その意味で、再生と躍動を象徴する発展の年「(つ)たい。

電の水を得るが如し」。時期を得て、柔軟に対応し目的を達したい。

正月一日の夕方震度7の地震と津波が能登半島を襲い半島全域が崩れ全ての家屋が崩壊し火災が駄目押しした。15日現在で犠牲になられた人222人行方不明者22人と発表された。言葉が出ない。ご冥福と一日も早い復興をお祈りします。

長期政権がかかっていた岸田総理、昨年の地方選挙とG7広島サミットは無難に乗り切ったが何故か支持率も低迷が続く今やポスト岸田が世間の注目度一位を突く走。

最低3月の予算成立までは大丈夫と太鼓判を打ちますが、次々と打たれる施策も、虎口を逃れて竜穴に入る「こと無きようありたいものだ。

世論は小石河連合一押しだが、我らが亀井先生。次期総理は女性でなければ自民党は持たぬとか。

何故か上川外相が急浮上。なにか見えぬところで大きな力が動いて草。

パーティー券裏金疑惑で派閥解消が叫ばれているなか、私は無派閥の経済安全担当大臣高市早苗さん、一押しです。

なにがどうなる

12月定例会条例改正など

<町職員給与条例の一部改正>

○国の人事院勧告（R5. 8月）に準じ職員給与の改正を行った。

- ・初任給及び若年層の棒給月額引き上げ。
- ・ボーナス引き上げ（0.1月分）、民間の支給状況を踏まえ勤勉手当に配分。⇒4.50月

<町非常勤特別職の報酬・費用弁償条例の一部改正>

- ①支給方法を、支給日当日分は「現金」支給だったものを、翌月15日「口座振替」に変更する。
- ②「神石高原町総合戦略策定委員会委員」を「長期総合計画等策定委員会委員」に改める。

<町過疎地域持続的発展事業基金条例の制定>

○過疎対策事業ソフト債の最大有効活用

※直接充当（現在）⇒「過疎地域持続的発展事業基金」として積み立て⇒取り崩し充当する

<町病後児保育施設設置条例の制定>

○町病後児保育室を、小島保育所内に設置します。

※利用者負担 2000円/4時間以上、町内住所0歳～小6まで、連続7日間

<農業排水事業設置条例の制定>

○排水の水質汚染防止のため、地方公営事業法の規定に基づく排水事業設置、財務規定など経営基本を定める。

※複式簿記による記帳により⇒中長期的な経営方針の決定 併せて剰余金処分条例を制定

<町国民健康保険条例の一部改正>

○産前産後期間の保険税の減額

※出産予定1か月前～予定月の翌々月までの4ヵ月間→全額免除（負担 1/2（国）、1/4（県市町））

<町森林公園きのこの森設置管理条例の廃止>

○平成9年度設置の森林公園きのこの森

※民間業者との連携により新たな活用を進めるため設置管理条例を廃止します。

<工事請負契約の変更>

こばたけ保育所	
変更後	変更前
602, 393, 000 円	596, 938, 320 円

*節電装置、屋外トランポリン、ネットフェンスなど設置追加

<財産の取得>

神石高原町立病院	
個人用透析装置	
12, 842, 500 円	

*指名競争入札（15社うち13社辞退）

*落札率 100%

<教育委員の任命同意>

氏名	藤原 和則
住所	上豊松 868

<町有財産の無償貸付>

旧切田堆肥センター	
概要	建物 及び 土地
相手方	じんせき高原牧場(株)

令和5年12月一般会計補正予算

(単位:万円)四捨五入

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	33	8191	職員人件費
総務費	1億3743	27億2454	かがやきネット750、庁舎管理(神石支所)1億2750、財産管理(油木地区)123、情報通信整備▲1億460、PWJ地域医療充実応援寄付金事業8000、特定地域づくり事業組合運営349、住民基本台帳541
民生費	1億2841	28億3019	福祉医療196、社会福祉費国県返還933、電力ガス食品など価額高騰支援9550、高齢者福祉管理100、障害者介護給付・訓練給付1260、障害児介護給付291、介護保険特別会計▲203、介護サービス事業者など物価高騰対策支援675、保育所運営100、扶助経費257
衛生費	413	18億1169	予防接種200、飲料水確保374、省エネ・太陽温熱水器設置支援▲261、病院事業会計▲418、クリーンセンター神石施設経費(ごみ処理)325
農林水産費	3746	10億3859	農林産物販売促進96、化学肥料低減定着事業50、畜産経営安定化推進1059、小規模崩壊復旧2602
商工費	4381	2億4157	商工会育成(燃料購入支援)4067、自然公園管理223
土木費	183	8億1699	宅地耐震化推進369
消費費		4億4148	
教育費	▲4323	10億5813	英語教育推進491、小学校校舎管理▲437、中学校校舎管理▲127、中学校寄宿舎59、町立体育館(神石トレセン)施設管理▲4511
災害復旧費	500	3億2551	現年農地施設復旧500
公債費		12億8472	
諸支出金	▲82	3億8829	公共施設管理基金積立▲82
予備費		4000	
合計	3億1435	130億8361	(主な歳入)国庫支出金1億4342、県支出金2083、財産収入12、寄付金(企業版ふるさと納税など)9990、基金繰り入れ▲9761、繰越金7965、諸収入(民生費国県精算金など)274、過疎債▲1億6110、合併特例債2億1370、緊急自然災害防止債1220

12月補正予算

- 神石支所庁舎の一部改修
 - *建設から38年経過→長寿命化
 - ⇒社協、シルバーC、商工会を集約
- NPO法人支援交付金(PWJ)
 - *財源⇒企業版ふるさと納税
- 情報通信整備(かがやきネット)は、
 - *次年度以降の更新に変更
- 特定地域づくり事業組合
 - *組合の設立⇒人手不足の解消等
 - 事務経費など支援
- 物価高騰支援は、国の決定分
 - *住民税非課税世帯(7万円給付)
- 畜産経営安定化推進
 - *財源⇒物価対策交付金・企業版ふるさと納税
- 商工会(燃料購入支援)
 - ⇒2000円給油で500円券を贈呈(最大5000円)
 - *有効期限 令和6年3月20日
- 神石トレニングセンター屋根
 - *来年度以降工事に変更する

会計名	R5年度			摘要		
	当初予算額	12月補正	12月補正後予算			
一般会計	120億2000	3億1435	130億8361			
特別会計	国民健康保険	9億3850	5750	10億0210	負担金5600	
	後期高齢者医療	3億8790		3億9107		
	介護保険	18億6790	▲203	19億2153		
	内訳	保険事業勘定	18億5100	▲129	19億0536	職員人件費
		介護サービス事業勘定	1690	▲74	1616	職員人件費
	飲料水供設事業	4170	251	4858	施設修繕量	
	農業集落排水事業	2億1780	559	2億3359	システム改修 人件費	
	分収育林事業					
	総合開発事	1320		1,320		
	特別会計計	34億6700	6356	35億9811		
病院事業会計	4億9379		5億1123			
内訳	資本的支出	3138			電子カルテ歳入振替210	
	収益的支出	4億6241			〃	
合計	159億8079	3億7791	171億9295			
特別会計+病院事業会計	39億6079	6356	41億0384			

- *飲料水供給施設会計
 - ・一般管理・施設維持 250.7万円
- *農業集落排水特別会計
 - ・施設維持管理・システム管理委託 55.3万円
 - ・施設修繕 491万円
- *国民健康保険特別会計
 - ・一般療養給付負担金 5600万円
 - ・一般高額療養費負担金 100万円
- *介護保険特別会計
 - ・人件費 ▲203万円
- *病院事業会計
 - ・電子カルテ購入経費に関する歳入を一般会計補助金及び企業債としていたものを、県補助金に振り替えた

新型コロナウイルス感染症及び物価対策予算の概要

令和5年度補正予算(R5. 12. 6. 提出)				単位:万円
区分	補正前の額	12月補正額	うち対策予算額	補正後の額..
一般会計	127億6926	3億1435	1億4929	130億8361
合計	127億6926	3億1435	1億4929	130億8361

参考記録	関連対策経費	単位:万円
令和2年度	13億5275	(決算額)
令和3年度	5億0551	(決算額)
令和4年度	5億7209	(決算額)
小計	24億3034	
令和5年度	3億4270	(予算額)
合計	27億7304	

一般質問

【イノシシ被害復旧について】

1、捕獲奨励金は個体ごとに充実の方向にあり捕獲個数も増加している。被害については損害保険を除き被害防止対策への支援補助制度は存在するが、被害復旧への補助制度は現在のところ見当たらない。

イノシシの住居地域への出現も多発し被害面積も増加傾向にある。

改めて再度、イノシシ被害の復旧対策を検討したかどうか。

【子育て支援について】

「まち全体での子育て」を掲げ、出生率2.3を維持している岡山県奈義(なぎ)町の取り組みの中から学ぶものはないか。

わが町も、国に子供家庭庁が出来る前から「子育て応援課」を設置し子育て支援の重要性を唱え横断的に取り組んでいる最中である。

＜奈義町の取り組みの主なもの＞

○ しごとコンビニ事業

- * 子育てしながら空いた時間にちょっとだけ働くことのできる仕組みや環境の整備
- * シニア世代など自分の自由な時間を使ってちょっとだけみんなと一緒に仕事する場
- * 忙しい時期にちょっとだけ手伝ってほしい、草刈りや片付けなど困ったときにちょっとだけ手助けしてほしいなど、仕事の受け皿づくり、業務の効率化を図る為の環境造り
- ◇対象：子育て中の母親、保育園、幼稚園、小中高校生の保護者、シニア世代
- ◇実施主体：一般社団法人「しごとえん」(町民主体で法人化)

○ 多世代共生型ナギギフトカード

- * 町民カード(ICチップ入り電子カード/全町民所持)
- * 買い物ポイント(1ポイント1円)
- * 地域プレミアム商品券の電子版(地域活性化支援券)⇒R4は1万円で1.3万円
- * 加盟店でチャージ
- * 端末は、町が貸付(98%の店で使用可能)

○ 在宅育児支援金交付事業

- * 在宅で育児をする保護者に対し、該当時1人当たり月1万5千円支給
- * 単独町費事業

イノシシ被害の法面復旧

Q 被害復旧対策は。

A 入江町長

法面被害の復旧費用の補助については、個人の財産部分への補助には限界があると考えている。
現行制度の活用をお願いしたい。

Q 活用のため、具体を説明願う。

A 高橋産業課長

イノシシによる法面被害1/2補助上限5万円で業者の施工に限る農地のみです。

A 松本建設課長

イノシシ被害に限らず水路など壊れた場合原材料費を10万円を限度として自治振興会に支給する制度、水路を新たに灌漑用に付け替える場

合には土地改良事業にて事業費1/2補助限度額50万の事業あり。

子育て支援の拡充

Q 改めてわが町の取り組み成果をお聞きするとともに、まち全体で

「子育て」を掲げ出生率2.3を維持している岡山県奈義(なぎ)町の取り組みの中から学ぶものはないか。

A 入江町長

令和2年度より2課で取り扱っていた子育てに関する業務を一元化し「子育て応援課」1課で対応している。多くの情報共有が図られ、子育て世帯との繋がりを大切にするなかでより密度の高い行政サービスに繋がっている。
本年度子育て支援プロジェクト

「ム」を立ち上げ 第3次長期総合計画「第3期総合戦略」の取り組みに先立ち、1年前倒しでスタートしたい。令和6年度からの新たな取り組みとして保育料や子供医療費の完全無料化、頑張る高校生を応援する祝い金制度の創設、検定受験量の支援拡充などの事業実施を検討している。

奈義町の「二一」で効果的な子育て支援対策等も参考にさせていただき子育て支援、人口減少対策に力を入れていきたい。

令和6年度より、新たに子ども子育て応援宣言を行い、子育て施策の充実内容を含め、町のアピールに努めたい。

Q 子育て支援は少子化対策の一環と理解してもよいか。

A 豊田子育て応援課長

少子化対策、生活環境、安心安全な暮らしを含めた全体的な取り組みの中で支援の核がでると思う。

Q プロジェクトチームの構成は。

A 森重副町長

私がリーダーで、内部構成で行う。

Q 奈義町は、長期的な目標を定め年毎に検証している。PPTではこれを参考にしたい。

A 入江町長

空いた時間を活用する人もおられるので参考に検討してみたい。

Q 多世代共生型ナギギフトカードは、「コロナ給付金や通貨券にも活用できる。検討課題だ。

A 入江町長

有効な施策になると思う。中身を精査し検討してみたい。

Q 多世代共生型ナギギフトカードは、「コロナ給付金や通貨券にも活用できる。検討課題だ。

A 入江町長

商工会との連携が重要になる。商工会からの提案が重要だ。

Q 奈義町は子育て支援の大きな流れの中で取り組んでいる。産みたくなくなるシステムづくりが必要だ。来年の子育て応援宣言をしっかりと歴史に刻み、取り組んでいきたい。

A 入江町長

子供を産み育て教育して良かったと言われる町を目指します。

Q 在宅育児支援交付金事業は。